



## さあ 実りある二学期のスタートだ！！

9月1日(木) 二学期の始業式を行いました。登校時には笑顔と大きな声のあいさつが交わされ、「さあやるぞ」という気分になりました。夏休み中は、部活動や体育大会の準備、勉強にがんばったのではないかと思います。始業式では、各学年代表による二学期に向けての決意表明がありました。体育大会や合唱コンクール、70周年記念行事への強い想いが伝わってきました。また、校歌斉唱では、生徒会執行部の指揮により声高らかな合唱を聴くことができました。



### 二学期に向けて 鈴木 美茜 (2-3)

夏休みの間、私がよく考えたのは「仲間」という言葉についてでした。

西三予選で、あれだけ走って、あれだけ声を出していた先輩方が負けてしまいました。先輩たちは、少ない人数だったけれど、お互いに励ましあい、苦しい場面でこそ一つになる、そんなチームでした。

この夏、新チームの私たちは「仲間」を意識することがなかなかできませんでした。誰かがミスをして、なかなか声が出ず、チームが沈む、そんなことがたくさんありました。

でも、嫌なことばかりではありません。みんなが素早く行動しよう、という気持ちをもっています。また、人数が多いぶん、全員がまとまった瞬間の力は、先輩たちに負けていません。この二学期、それぞれの頑張りをみんなで認め合う、そういう女子バスケット部になりたいです。そして、必ず先輩たちを超えます。

次に、体育大会についてです。私は今年、応援リーダーを任せてもらうことになりました。去年、何もわからないまま臨んだ応援練習で、ある2年生の先輩が丁寧に教えてくださいました。その先輩は、3年生の中にも混ざって一緒に指示を出したり、自分の意見を出したりしていました。そんな姿を見て、私たちも頑張らなきゃ、と強く感じたのを覚えています。だから、私も同じくらい頑張る姿を1年生の子たちに示します。こんな先輩になりたいと感じてもらえるくらい、一生懸命行動します。

そして、やるからには優勝します。2年生の先生たちが言っている、「その行事までの日々の生活の積み重ねが、一番大事なこと」という言葉をよく考えながら、「絆」を深め、「仲間」を感じ、毎日を過ごしていきたいです。

3年生の先輩たちに「仲間」として認めってもらえる姿を見せ、共に闘うつもりでこの行事に取り組んでいきます。よろしくお願いします。

## 宴天華 ~昇華せよ 70年目の頂(いただき)へ~ <体育大会スローガン>

今年の体育大会は9月17日(土)に行います。スローガンは「宴天華 ~昇華せよ 70年目の頂(いただき)へ~」に決まりました。このスローガンには、「70年目にふさわしい宴のような華のある体育大会にして、各団が団結して天頂(てっぺん)を目指す」という意味があるそうです。このスローガンのもと、本番の体育大会の中でどんなドラマが生まれるか、また、どんな歓声が天目山を揺るがすか、楽しみにしています。なお、当日の開催、延期の連絡は、午前7時までに学校メールで連絡します。天候にかかわる日程変更は以下のとおりです。

### 体育大会の予定について(天候に関わる予定変更)

9/17	9/18	の場合	17(土)	18(日)	20(火)	21(水)
晴れ			<b>体育大会(弁当)</b>	(休み)	代休	平常
雨	晴れ		休み	<b>体育大会(弁当)</b>	代休	平常
雨	雨		休み	火曜授業(弁当)	代休	<b>体育大会(給食)</b>

## 体育大会の保護者用観覧場所について <学校評価アンケートから>

一学期末にいただいたご意見で「体育大会の保護者の観覧の場所を工夫してほしい」とのご意見をいただきました。生徒の活動や体育大会の運営する上で支障のないよう、観覧場所について制限を加えてきましたが、昨年に引き続き下記のように少し改めますので、ご承知おきください。

- 混雑する応援合戦のとき（午後から）、本部テント右の器具置き場を撤去し応援スペースを確保します。また、来賓テントの後ろ半分を解放します。
- 天目山の並木道をプール横まで開放します。（幅跳び等フィールド競技が見やすくなります。）
- 昨年同様、タフロープを張り、観覧スペースを明確にします。
- 当日、観覧可能場所を掲示します。

## 吹奏楽部 3年連続東海吹奏楽コンクールで金賞!! さらに朝日新聞社賞

吹奏楽部は、昨年に引き続き3年連続で東海吹奏楽コンクールに出場しました。今年の演奏曲はラヴェル作曲「クーブランの墓」。本来はピアノ曲であるこの曲を顧問の榊原宏樹先生が部員の構成、能力を考えて編曲しました。今年は、演奏者それぞれに見せ場がある曲になっていたように思います。それだけに一人ひとりの確かな演奏力が問われます。この演奏をするために、個々の努力は大変なものだったと思います。

7月に行われた西三南地区大会で金賞を受賞し、8月4日(木)に行われた県大会に出場しました。今年も当たり前のように金賞を受賞しましたが、昨年までいただいていた1位の証である県教育委員会賞と朝日新聞社賞を逃してしまいました。今年は豊橋の東陵中の演奏レベルが非常に高かったようです。それでも東海大会出場でたいしたものだと思うのですが、吹奏楽部の皆さんは結果を大変悔しがり、東海大会での雪辱を誓いました。

そして、8月28日(日)、四日市市で東海吹奏楽コンクールが行われました。愛知、岐阜、三重、静岡、長野の各県から代表として選ばれた15校が演奏しました。どの学校もレベルが高く素晴らしい演奏でした。大きな音を響かせ、高らかに演奏する学校。リズムカル

に正確に演奏する学校、様々でした。閉会式での結果発表。緊張の中で結果を聞きました。吹奏楽コンクールの結果伝達は、出演順に前に行き、金賞か銀賞か銅賞か発表されず。東中は、金賞でした。これで3年連続の金賞を決めました。他の出場校を見渡してみると、3年連続で出場する学校は少なく、その中での3年連続の金賞です。素晴らしい快挙だと思います。

そして、全学校の発表が終わった後、最後に1位の証である朝日新聞社賞が発表されます。緊張の瞬間です。「出演順12番、碧南市立東中学校」。県大会の雪辱、そして、3年越しの念願の東海大会朝日新聞社賞受賞を果たすことができました。つらい練習に耐え、よくがんばりました。おめでとうございます。



### 吹奏楽部部長 金子 末依 (3-1)

私たちは、この夏、初めての東海大会1位の証である朝日新聞社賞をいただきました。今まで先輩方が叶えられなかった夢を叶えることができたととてもうれしかったです。今まで練習でなかなかうまくいかなかったり、部員一人ひとりの想いがすれ違ったり、たくさんのつらいことや苦しいことがありました。でも、その一つずつを乗り越えていくことで、今の素晴らしい

い結果があると思います。

私たちの部活は本当に皆さんの支えがあって活動できています。だから、70周年記念式典に向けて、東中学校をお祝いできるように、華やかな演奏をさせていただきたいと思います。70周年という記念の年に素晴らしい結果が出せて本当にうれしく思います。

今まで応援してくださった家族や先生、地域の皆さんに感謝します。